



進路だより 第4号
2020/8/31
兵庫県立明石高等学校
進路指導部発行

□ **いよいよ始まる、受験に向けてのあれこれ**

① 推薦入試説明会 (9/1)

9月1日(火)の放課後、総合型選抜・学校推薦型選抜を受験する人、受験する可能性のある人を対象に『推薦入試説明会』を行います。この説明会は7月と違って、具体的な校内の手続きの方法などについても説明します。全員出席ではないので、「うっかりして忘れていた」「別に聞かなくてもいいだろう」などの理由で出席しないということは絶対にないようにしてください。

また、総合型・推薦型での受験を考えている人は、7月の時にも話をしましたが、決意と覚悟をもって受験準備をして欲しいと思います。

② 大学入学共通テスト説明会 (9/3)

9月3日(木)の放課後に共通テスト受験希望者を対象とした説明会を行います。今年度はコロナウィルスの影響で日程が第2日程までであるなど、昨年度と違います。しっかりと説明を聞いて対応してもらいたいと思います。願書記入・受験料振り込みなども自分で行わなければならないこと、間違えては取り返しのつかないことも多々あります。しっかりと心して、聞いてもらえたらと思います。

さて、共通テストについては学年集会でも言いましたが、国公立志望の人だけが受けるものではありません。私立を考えている人には、『共通テスト利用』『共通テスト併用』と言った受験方式があり受験機会が増えたり、共通テストの点数次第では非常に有利に受験ができたりします。また、今年度から、以前までのセンター試験とは出題傾向は変わるものの、共通テストで問われる力は私立入試に必要なものです。私立に弾みをつける意味でも、受験することをオススメします。さらに、私立大と同様3教科の受験であったとしても、点数がとれた場合、国公立大学進学へのチャンスを掴むこともできます。難関私立大のすべり止めとしても活用できます。ぜひ、前向きに受験を考えてください。

□ **進路について、しっかり考えて決断すること**

【安易な選択は、進学後まで影響を与える】

面談も終わり、これから方向を定めて受験対策をすることと思います。現在、世の中を見渡してみると、今年は入試改革初年度であり、さらに新型コロナウイルスの影響がありと受験生への懸念の声があちこちで聞こえます。また、昨年度にも増して「受験生の安全志向が働くのではないか」とも言われています。ここでいう安全志向というのは、一般選抜(2・3月)までに進学先を決めたいという意識であったり、確実に合格するために志望校を下げたりといった受験生の心理のことです。新聞などの予想では、この安全志向の影響から、総合型選抜や学校推薦型選抜を選択する受験生が多くなるとのことです。さて、このような情報をうけて、みなさんはどの大学を目指しますか？また、どの受験方式でチャレンジすることを考えていますか？以前の集会等でも、推薦型選抜を考える際の注意点を述べましたが、志望校については真剣に慎重に考えるようにしてください。決して「大学に入る」ことが目的にならないようにしましょう。大切なことは「入学後何をするのか、何がしたいのか」です。

「今の自分でも入ることのできる大学」ではなく、「自分が学びたい大学」の合格をいかにして勝ち取るかを念頭において学習に励みましょう。

□ **量と質を高める勉強を**

① 模試の分析と自己の分析を行う

みなさん7月記述模試の成績が配信されましたか？偏差値や判定だけでなく、これからの受験勉強のためにも、しっかりと分析をしましょう。

まずは「自己分析」です。模試の解答が返ってきたら、問題の系統別に出来不出来を書き出します。そうすることで、目に見える形で、自分は今何ができているのか、いけないのかははっきりします。それが明らかになったら、ここからは成績を向上させるための2つのパターンがあります。1つ目は「苦手なことに重点を置いて取り組む」パターン。そしてもう1つが「得意な科目に重点を置いてさらに磨く」パターンです。1つ目のパターンは、根気がいりますので、くじけず頑張りましょう。2つ目のパターンは、苦手科目を置き去りにしないようにしましょう。自分に合う方法を選んで、徹底的に努力してください。ここで大切なことは、自分の出来不出来を目に見える形で表すことです。頭の中で行わずにしっかりと書き出してください。

② 出題の仕方の分析

次に、問題の分析です。ただ間違ったところなどを見直すのではなく、どんなことが問われていたのかをみましょう。その単元の出題のされ方が何となくでも分かってくることで、どんな勉強をしなければいけないのかが見えてきます。これをわからずに、ただやみくもに勉強をしても効率はあがりません。問題の分析はみなさんにとっては少し難しいことかもしれませんが、やってみる価値はあります。この考え方が大学ごとの問題傾向の違いを理解することにも役に立ちます。量をこなすことも大切ですが、質をあげるためには、このようなアプローチが大切なのではないでしょうか。

□ **テレメール願書請求カタログ配布**

願書請求ができるパンフレットを配布します。「一般選抜願書」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「ネット出願資料」が請求できます。資料や願書は原則として自分で取り寄せることとなっています。自分で必要なもの、必要となる可能性があるものは早めに取り寄せるようにしましょう。そして、資料を取り寄せたらその資料をしっかりと読むこと。とにかく自分で行いましょう。

発送開始日前でも予約できます。国公立の学校推薦型選抜を考えている人は、提出書類の完成に時間がかかるため、できるだけ早めの手配してください！

インターネット出願でもWeb登録後に調査書等の発送があるところがあります。必ず資料を取り寄せて良く確認しておくようにしましょう！

